

南山大学 人間関係研究センター春の公開講演会（無料）

心理療法の理論・技法の統合を探る

関係療法中心の統合の試みー

2005年6月2日（木） 午後6時30分～8時30分

南山大学名古屋キャンパス D棟

心理療法の理論・技法の豊かな展開の中で、ユーザーはもとより実践家にとっても、より実効性のある、信頼性の高いアプローチへのニーズが高まっています。実際、心理臨床家たちは、一つの理論・技法に固執することなく、だからといって多くの心理療法の理論・技法に振り回されることもなく、一貫性のある理論と実効性のあるアプローチを身につけることを求めて理論・技法の整理・統合を考え始めました。

この講演では、その一つの試みとして、私が試みている関係（家族）療法中心の統合的アプローチの考え方と方法を、紹介したいと思います。

関係療法中心の統合的アプローチとは、個人療法が開発してきた個人の内的・認知的心理力動と家族・グループ・コミュニティ心理学が追求してきた関係の力動を「関係」というキーワードを中心に統合しようとするものです。特にこのアプローチでは、各臨床家が基礎とする理論・技法を大切にしながら、他の理論をどう同化していくかという視点が重視されます。

講師：跡見学園女子大学大学院教授 ^{ひら}平 ^き木 ^{のり}典 ^こ子氏



津田塾大学英文学科卒、ミネソタ大学大学院修士課程修了。
1967年より立教大学カウンセラー、社会学部兼任講師。1991年から2005年3月まで日本女子大学人間社会学部心理学科教授。日本家族心理学会、日本産業カウンセリング学会、日本カウンセリング学会、日本心理学諸学連合、日本学術会議心理学研究連絡委員会などの要職を務める。アサーション・トレーニングの日本での草分けであり、多くのカウンセラーの養成に尽力されてきた。著書は『新版 カウンセリングの話』『カウンセリングとは何か』（以上、朝日新聞社）『アサーション・トレーニング さわやかな自己表現のために』（日本・精神技術研究所）『自己カウンセリングとアサーションのすすめ』（金子書房）『家族との心理臨床』（垣内出版）『カウンセリング・スキルを学ぶ』（金剛出版）など多数。

協賛 南山エクステンション・カレッジ

～ 参加費は無料となっておりますが、準備の都合上、ご参加の場合は下記までご連絡下さい。～

南山大学 人間関係研究センター 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18

TEL : 052-832-5002

・E-mail : ninkan-c@nanzan-u.ac.jp

FAX : 052-832-3202

・Homepage : <http://www.nanzan-u.ac.jp/NINKAN/>

Fax、E-mail の場合は「氏名」、「人数」、「連絡先（E-mail 又は電話番号）」をお知らせください。